

参加申し込み書

FAX. **03-3756-0307**
 インターネットからのお申し込みは下の URL へ
<http://www.sainou.or.jp/forum2018/>

参加される方のお名前・ご連絡先等

ふりがな

お名前

郵便番号 住所

電話番号 メールアドレス

勤務先

*本申し込み書にご記入いただいた個人情報は、IMETS フォーラム実施に関わる確認・連絡および当財団からのご案内以外には使用いたしません。

参加区分と参加費 (消費税を含みます。希望される区分の□にレ印を入れてください。「学生」は内地留学を除きます。)

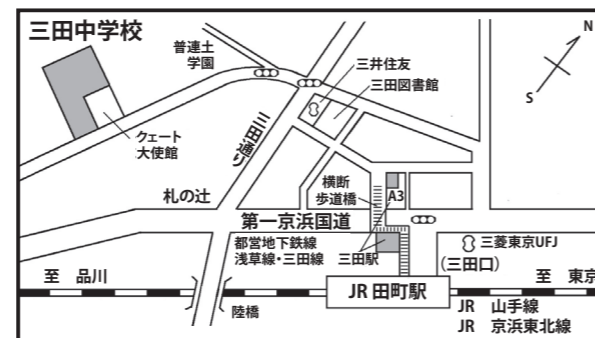
小・中学校コース		
2日間参加	<input type="checkbox"/> 一般(11,000円)	<input type="checkbox"/> 学生(4,000円)
7月26日(木)のみ参加	<input type="checkbox"/> 一般(7,000円)	<input type="checkbox"/> 学生(3,000円)
7月27日(金)のみ参加	<input type="checkbox"/> 一般(7,000円)	<input type="checkbox"/> 学生(3,000円)
特別コース		
7月26日(木)幼児教育実践講座	<input type="checkbox"/> 一般(7,000円) ※教材費含む	
7月27日(金)カリキュラムマネジメント講座	<input type="checkbox"/> 一般(6,000円)	<input type="checkbox"/> 学生(3,000円)

ワークショップの選択 (小・中学校コース) ※前ページのプログラムからご希望の講座を第2希望まで番号および記号でご記入ください。

	第1希望	第2希望
26日(木)		
27日(金)		

会場 東京都 港区立三田中学校 (東京都港区三田 4-13-13)

アクセス：最寄り駅
 「田町駅」(JR 山手線・京浜東北線) 徒歩 12 分
 「三田駅」(都営浅草線・三田線) 徒歩 12 分



主催：公益財団法人才能開発教育研究財団教育工学研究協議会
 共催：一般社団法人 日本教育情報化振興会 (JAPET & CEC)
 後援：文部科学省 (申請中) 東京都教育委員会、港区教育委員会、全国教育研究所連盟、民間教育研究所連盟、日本教育工学会、日本教育工学協会、NPO 法人日本教育再興連盟 (ROJE)
 協力：学研グループ各社

お申し込み方法

参加申し込み書にご記入の上、FAX してください。
 インターネットからの申し込みも可能です。
<http://www.sainou.or.jp/forum2018/>
 ※お申し込み者には、参加費の振込先、地図などをお送りいたします。

お問い合わせ先

公益財団法人 才能開発教育研究財団
 教育工学研究協議会 フォーラム事務局
 〒146-0083 東京都大田区千鳥 3-25-5 千鳥町ビル
 電話：03-5741-1311 FAX：03-3756-0307
 E-mail：forum@sainou.or.jp

IMETSフォーラム 2018 第45回教育工学研修中央セミナー

主催：公益財団法人才能開発教育研究財団 教育工学研究協議会
 共催：一般社団法人日本教育情報化振興会 (JAPET & CEC)

研修テーマ

新学習指導要領がめざす授業の デザイン・評価とICT活用

日時 7月26日(木)・7月27日(金)

9:00 ~

会場 東京都 港区立三田中学校

参加費 2日参加 11,000円
 (消費税込) 1日参加 7,000円

※学生割引あり 4P 参照

後援：文部科学省、
 (申請中) 東京都教育委員会、他

IMETS フォーラム 2018「新学習指導要領がめざす授業デザイン・評価と ICT 活用」を研修主題として 2 日間のプログラムを構成しました。2 日間を通して、個人および組織 (学校全体) として、研修主題に示したねらいを達成するために何をすべきか、どのような授業をめざしていけばよいのか、ICT などの最新の教育環境をどう活かしていけばよいのか、などについて、先進的な事例に学び、受講者の担当する学級や勤務する学校の児童生徒の学力向上に資する研修を実施します。



小・中学校コース

7月26日(木)

開会行事 ご挨拶 文科省初等中等教育局長、港区教育長
 共催挨拶 日本教育情報化振興会会長 赤堀侃司
 (9:00 ~)

基調講演 新学習指導要領における情報教育

(9:15 ~) JAPET & CEC 会長 赤堀 侃司
 新学習指導要領においては、いくつかのキーワードが見られる。資質能力、カリキュラムマネジメント、教科横断などであるが、情報活用能力が基盤的な能力として挙げられたことは、注目に値する。その情報活用能力と、道具としての ICT の活用、プログラミング教育は、どのように関わるのか、その概要について述べる。

講演 情報活用能力を育てる授業のデザインと評価

(10:45 ~) 東北学院大学教授 稲垣 忠
 新学習指導要領では、学習の基盤となる資質・能力の一つとして、情報活用能力を教科・領域を横断して育成するとした。情報活用能力は、コンピュータの操作だけではなく、探究的な学びを支える広範な資質・能力である。探究的な学びを軸にどう単元を構成し、評価するのかについて、基本的な考え方といくつかの事例を紹介する。

ワークショップ 概要は 2 ページをご覧ください

(13:00 ~)

パネルディスカッション

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善と ICT 活用

パネリスト
 放送大学教授 中川一史
 他実践者 2 名

2017 年に公表された新学習指導要領によると、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が求められている。ここに ICT 活用がどのように寄与できるのか、当日は、2 名の実践者に具体的な実践事例を報告いただき、議論を深めたい。

7月27日(金)

講演 ルーブリックによる評価の意義と活用

(9:00 ~) 関西大学教授 黒上晴夫
 新指導要領は、資質・能力の 3 つの柱という枠組みで構造化されました。そして、それらをバランス良く育てるために、多様な評価が求められています。中でも、改めて注目が集まっているのがルーブリックです。3 つの柱とルーブリックはどのように関連するのか、ルーブリックによる評価の意義は何か、ルーブリックはどのように作成するのか、について検討します。

特別講演 アクティブ・ラーニングのその先へ

(10:15 ~) 公立はこだて未来大学教授 美馬のゆり
 複雑で見慣れない、不定形型の課題が世界中に出現しています。教育に関わる私たちは、これからいったい何をしていけばよいのでしょうか。子どもたちは何を学ぶ必要があるのでしょうか。またそれらを効率よく、効果的に学ぶ方法はあるのでしょうか。近未来について、世界の動向、学習理論などの知見を交えてお話しします。

ワークショップ 概要は 3 ページ目をご覧ください

(12:45 ~)

対談 ICT を活用した授業のデザインと評価

(15:00 ~) 日本女子大学教授 吉崎静夫
 つくば市立みどりの学園義務教育学校校長 毛利 靖
 「教育の情報化」においてわが国の最先端をいく茨城県つくば市の小・中学校の実践をふまえながら、(1) 教科および総合学習における ICT を活用した授業のデザインと評価、(2) 情報活用能力 (情報を収集・整理・発信する能力) を育てる授業のデザインと評価について考える。

閉会行事

(16:30 ~ 16:45)

ワークショップの概要

7月26日(木) 13:00 ~ 15:00

1	アクティブ・ラーニング・パターンによる授業改善 黒上晴夫 関西大学教授	アクティブ・ラーニングを取り入れた授業改善が求められています。そして、「主体的・対話的で深い学び」という視点が提示されましたが、その具体的な意味は、依然曖昧なままにも思われます。ALP（アクティブ・ラーニング・パターン）は、教員がもつイメージを抽出したものです。この講座では、ALPについて学ぶ中で、その意味を具体的に検討します。
2	NHK for School を活用した授業デザイン 宇治橋祐之 放送文化研究所メディア研究部主任研究員	小中学校の学年・教科に対応した80シリーズ・2000本に及ぶ番組、そして知識定着や調べ学習をサポートする7000本の動画クリップ。全国の教育現場で利用されているNHK for Schoolの番組、ウェブサイトを活かした授業をどうデザインすればよいのか。全国のさまざまな事例を基に考えていく。
3	小学校におけるプログラミング教育の授業実践 佐藤和紀 常葉大学教育学部初等教育課程専任講師	小学校でのプログラミング教育がニュースを賑わすようになっています。一方で戸惑いを覚えている先生も多くいるように思います。本WSでは、コンピュータを用いたプログラミング体験と、体験を踏まえたプログラミング的思考のワークショップを実施します。実践事例として京都教育大学附属桃山小学校の木村明憲先生から発表していただきます。
4	ワークショップ型研修づくりのノウハウ 村川雅弘 甲南女子大学教授	教員の主体的・対話的で深い学びの場としてワークショップ型研修が盛んに行われている。ワークショップ型研修の意義や効果、具体的な手法について改めて理解を深め、夏休み以降の研修の工夫・改善を図る。受講生は可能な限り、夏以降に実施する校内研修や集合研修の略案を持参し、ワークショップと講師の助言を通してその改善を行う。
5	新学習指導要領と情報モラル&セキュリティ 榎本竜二 聖心女子大学非常勤講師	新学習指導要領では情報モラルの表記が「留意」から「指導を充実」に変更された。特別の教科・道徳との関係や、教科等を越えた全ての学習の基盤として育まれ活用される資質・能力に挙げられた情報活用能力との関係、さらにネット上のフリーマーケット普及など社会動向を含めて最新情報を提示し議論を行います。
6	「主体的・対話的で深い学び」における評価 輿水かおり 玉川大学客員教授	新学習指導要領告示を受けて、各学校では、改訂のキーワードともいべき「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善が急がれている。その中で「育成を目指す資質・能力」の評価については戸惑いの声も聞かれる。本講座は、演習を通して、評価の意義を理解し、具体的な評価方法等について確認し合うことをねらいとする。
7	深い学びを生み出す授業！ちえとわざの宝箱 石堂裕 兵庫県たつの市立新宮小学校教諭	深い学びを生み出す授業を創るためには、おさえておきたいポイントがあります。明日からの実践に活かせるように、教科学習はもちろん、道徳や総合的な学習の時間など、タイプの異なる具体的な事例を取り上げながら、授業を創るための工夫点や配慮事項、そして評価の仕方などについて、参加される先生方と整理したいと思います。
8	写真でことわざを理解する(主に小学校教諭対象) 池田修 京都橘大学教授	小学校3、4年生で学習することわざの学習について新しい提案をします。それは、かるたの取り札を写真で作って見たらどうなるだろうかというものです。実際に小学生に行った授業の様子をお見せしながら、一方で参加者のみなさんに実際にことわざを写真で表していただきます。ご参加の方は、スマートフォンをご持参ください。

特別コース(教員免許状更新講習対象講座)

7月26日(木) 9:15 ~ 16:15

幼児教育実践講座

人形を使って楽しいコミュニケーションを

和気 瑞江 洗足こども短期大学幼児教育保育科 非常勤講師

子どもたちは人形劇が大好きです。動かないはずの人形が動くと、目がキラキラ輝いてきます。でも、いざ人形劇をやろうと思うと、人形を作って、稽古して、舞台を考えて…と悩むことも多いですね。いえいえ大丈夫！この講座で簡単な人形を作って、みんなで簡単なお話を考えて、さあ、あなたも人形劇に挑戦してみましょう！

参加費(消費税込)：一般 7,000円 ※教材費含む



教員免許状更新講習に認定されています

特別コースの2講座は、いずれも教員免許状更新講習の選択領域(6時間)の講習として認定されています。更新講習の受講者は講習後試験があります。教員免許状更新講習は受講申し込み方法が異なります。詳細につきましては財団HPをご覧ください。

<http://www.sainou.or.jp/license/>

ワークショップの概要

7月27日(金) 12:45 ~ 14:45

A	考え方を身につけるためのシンキングツール 小島亜華里 関西大学非常勤講師	主体的・対話的で深い学びでは、子どもに考えさせる場面がたくさんあります。しかし、考えるということは簡単なことではありません。本セッションでは、考えることを支援し、考え方を身につけるための道具としてシンキングツールを紹介します。実際に授業でどのように活用されているのか事例を見たり、使ってみる体験を通して、シンキングツールの活用ポイントを見つけましょう。
B	オーセンティックな文脈の学びとなる総合的な学習の単元づくり 野口徹 山形大学教授	改訂された学習指導要領では、総合的な学習の時間が、主体的・対話的で深い学びを進めるときに重要な役割を担うこととなっています。そのような総合的な学習の時間とするには単元が子どもにとって必然性のある真正の文脈であることが重要です。単元の具体例を紹介するとともに、参加者で協働的に単元づくりに取り組みます。
C	ICT活用授業のマネジメント 渡部昭 墨田区教育委員会(元中学校校長)	いよいよ今年度から新しい学習指導要領の移行期間に入ります。新しい学習指導要領では、ICTを活用しなければ解決できない学習課題があると言われてしています。ICTを授業等で有効に活用する方策について、各学校のICTの整備状況や活用の現状を出し合いながらICT活用の成果と課題を明らかにし、ICT活用のマネジメントについて検討します。
D	3.11を学びに～あの日を語ろう、未来を語ろう～ 佐藤敏郎 元東松島市立矢本第二中学校教諭	東日本大震災から7年間、中高生をはじめとした被災地内外の多くの人とともに、授業や地域活動の中で様々な取り組みや発信を続けてきました。女川、東松島、そして、大川小学校に関する事例をもとに、3.11をどう学びに変えていくかを考えます。
E	2つの授業支援アプリを比較しながら使ってみよう 村川弘城 日本福祉大学助教	多くの学校にタブレットやPCが配布されるにつれ、授業を支援するアプリの種類も増えています。それらのアプリはどれも特徴があり、一概にどれが優れているのかを問うことができません。しかし、教員の想いや子どもの性質によって、適したアプリと効果的な使い方が存在するはず。本ワークショップでは、MetaMoji社とJR四国がそれぞれ開発した2つのアプリを実際に比較しながら使ってもらい、学校現場での運用方法を検討してもらいます。競合他社の開発した2つのアプリを、その場で比較しながら検討するまたとない機会です。ふるってご参加ください。
F	誰にでもできるプログラミング教育 榎本竜二 聖心女子大学非常勤講師	新学習指導要領にプログラミング教育が明記されました。プログラミング的思考とプログラミングとは何が違って、何をしなければならぬのか。初心者でも使える教材は何があるのか。悩める先生方のために、紙と鉛筆だけからはじめて本格的なプログラミング教育に至る流れを、誰もが理解して授業ができる方法を提案します。
G	深い学びを生み出す授業！ちえとわざの宝箱 石堂裕 兵庫県たつの市立新宮小学校教諭	深い学びを生み出す授業を創るためには、おさえておきたいポイントがあります。明日からの実践に活かせるように、教科学習はもちろん、道徳や総合的な学習の時間など、タイプの異なる具体的な事例を取り上げながら、授業を創るための工夫点や配慮事項、そして評価の仕方などについて、参加される先生方と整理したいと思います。
H	こんな時どう言い返す(主に中学校教諭対象) 池田修 京都橘大学教授	生活指導は、その場、その時に口頭で、待たないで行わなければなりません。子供たちが理不尽な、または一筋筋の通ったかのように見える「文句」に、瞬時にきちんといい返さなければなりません。そうしないと、生徒たちは勝手に「先生は許した」などと思うようになります。理論とケーススタディで学んでいきましょう。

特別コース(教員免許状更新講習対象講座)

7月27日(金) 9:15 ~ 16:15

授業改善につながるカリキュラムマネジメント

村川雅弘 甲南女子大学教授

他実践者2名

育成を目指す資質・能力と子どもや地域の実態をふまえてどんな力を育てていくのか、そのための授業づくりをどう進めるのか、教職員の共通理解の下で組織として考え実践していくことが「カリキュラムマネジメント」です。

本講習では、学校が抱える様々な課題への対応で成果をあげた小・中学校の実際の事例について、カリキュラムマネジメントの観点から分析し、協議・検討を行うことで、日々の授業改善につながる授業研究およびカリキュラムマネジメントの手法について学びます。



講習の流れ



参加費(消費税込)：一般 6,000円 学生 3,000円